



平成二十五年 第二号 お正月発行

平成二十五年の新春を迎え、
謹んで至心に篤い三宝を誦し、

併せて檀信徒各位の

ご平安を祈念申し上げます。

住職

松野 大英

副住職

松野 大樹

筆頭総代

遠山 甚蔵

総代 一同

法類

松野 康彦

同

後藤 了善

執事

松野 俊明

寺族(住職妻)

松野 弘美



住職画



修正会

一年の健康と幸せを

お祈りする法要です。

日にち
時間
ところ

一月三日(木)
十一時
当寺本堂

十二時より客殿にて新年会

☆一年の心願成就の

ご祈願の為に、

お札・お守り・絵馬を

ご用意しております。

ご希望の方は、

お申し出下さい。



巳歳にちなみ

仏教においても、蛇のお話がたくさんでてまいります。が、「お釈迦さまと蛇」のお話の一つをご紹介します。いただきます。

「お釈迦さまと蛇」

お釈迦様がある時、一夜の宿を村人に請われました。村人はこれを受け、粗末なテント小屋を用意しました。礼を述べて、お釈迦様はテント中に入りお休みになりましたが、なんと村人は、テント小屋の中に、毒蛇を放したのです。

お釈迦様が恐れおののいて出てくる様子を見ようとしたのですが、小屋の中では異変がありません。お釈迦様は毒蛇に噛まれて死んでしまったのでしょうか？朝になり、お釈迦様は、いつもと変わらぬ様子で出てこられました。

村人が「蛇はどうなりましたか？」尋ねると、蛇は托鉢の中で静かに寝ていました。

お釈迦様が申されました。「自らの命も蛇の命も尊い命、相手の命の存在を軽視してはならぬ」と。

平等の命を示された一つです。私共も一つ一つの命を大切にしたいものです。

明けまして

おめでとう

ございます

本年もよろしくお願ひいたします

平成廿五年元旦



住職 画

嵯峨面

浄土宗特別寺院・京都嵯峨・

清涼寺に伝わる、

嵯峨狂言に使われた面を

復刻した民芸品です。

古い和紙を使い、

趣のある面です。

客殿の壁面に飾っております。



伏見焼

京都伏見稲荷に

伝わる焼物です。

現在、ただ一軒のみ

残る土物の人形です。

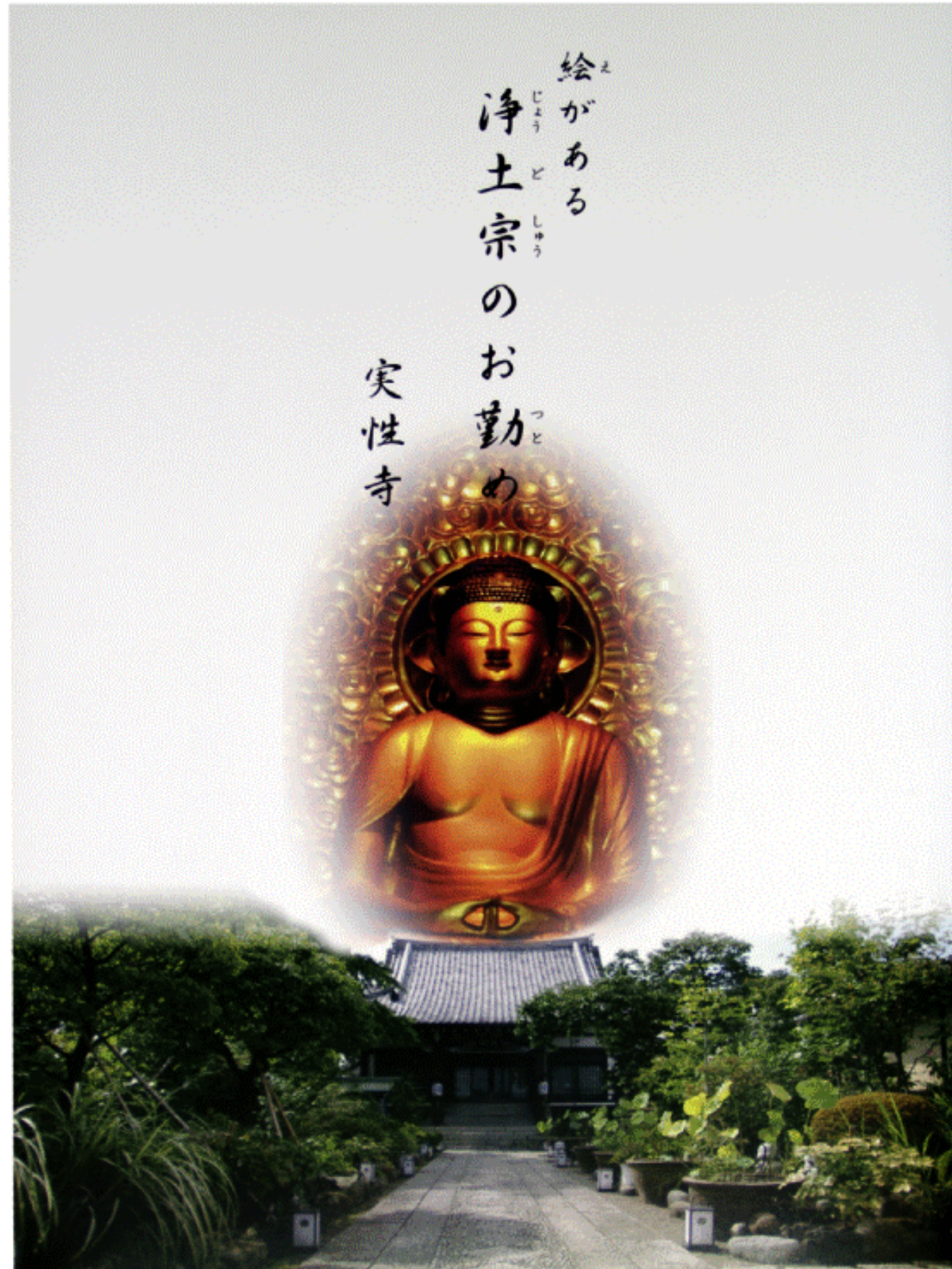
客殿の床の間に飾っ

てあります。

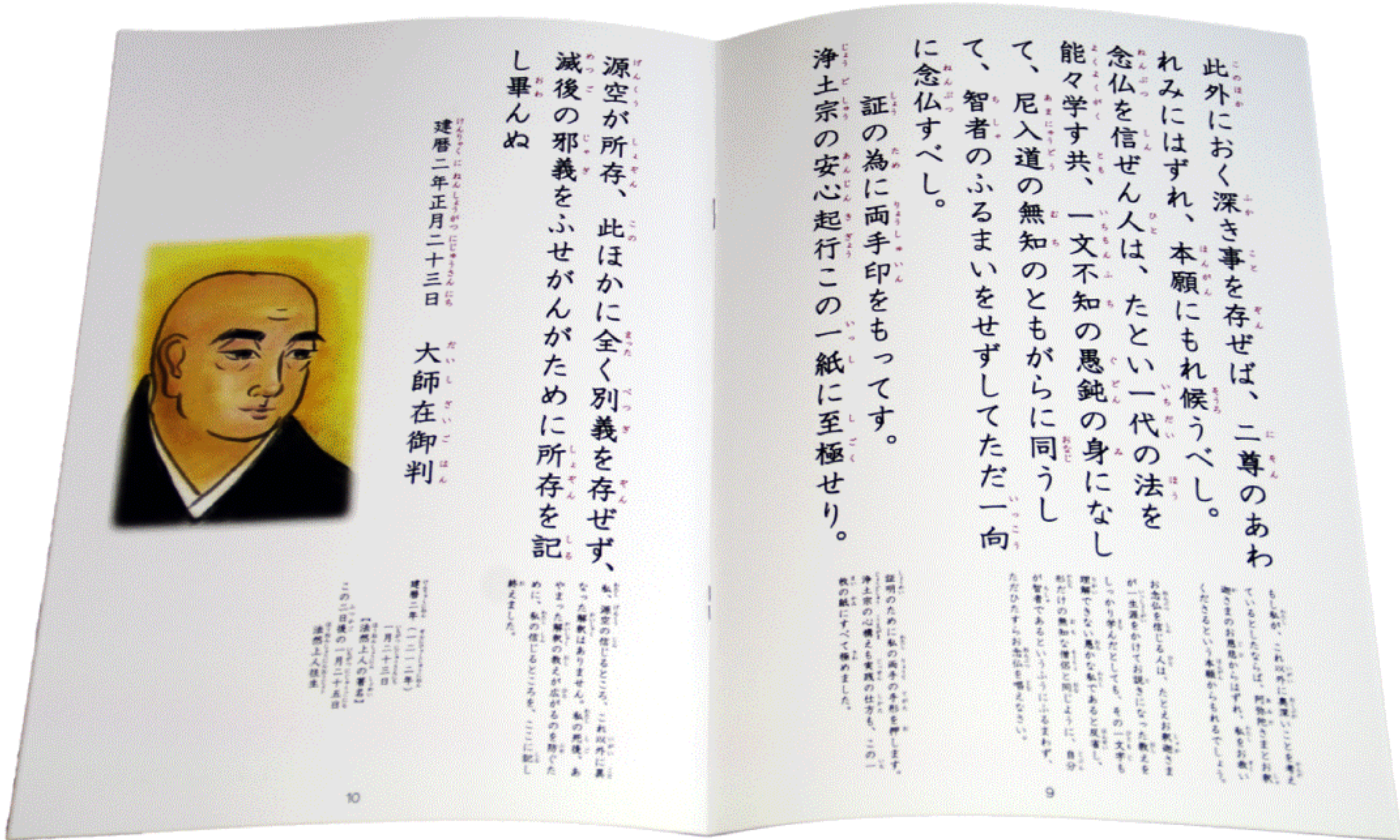


秋季彼岸会報告

平成二十四年九月二十二日(祝日)に合同回向が行われました。
オリジナルの「絵のある経本」にもとづき、鳴物(打物)についてご案内致しました。



実性寺オリジナルの
「絵のある経本」



御本尊 阿弥陀如来像

足立区制八十周年を記念し、一昨年より区内の仏教遺産調査が行われ、調査成果をまとめた書籍「足立の仏像」が足立区立郷土博物館より出版され、実性寺のご本尊様も掲載されました。(左参照)

本尊 阿弥陀如来坐像

木造(寄木造) 彫眼 漆箔

平安時代末期像高86・5cm

当寺の本尊であり、来迎形の観音・勢至両菩薩が脇侍として従立する。(なお両脇侍は現代の補作。)



阿弥陀如来は左右とも第一・二指を念じて腹前で組む弥陀定印を結び、右足を上に結跏趺坐し、両足先を見せる。白毫と肉髻珠をそれぞれ嵌入し(いずれも後補)、螺髪を彫出し、目も彫眼とする。現状では、頭髪を群青彩色、ほか全身に金箔を押す。補修が厚塗りであるため、構造の詳細は不明である。現状では、表面の形状は模糊としている部分も多いものの、顔貌をはじめ、各所に補修の痕跡がみられ、仕上げの下から浮き出る腹部



の凸凹具合などをみても、かつては少くない損傷を蒙っていたと思われる。おそらく当初の像容はもつと異なった印象を与えるものであっただろう。現状からでも、なで肩で薄づくりの体幹部、定朝様に近い起伏の少ない衣文の形式など、全体的な作風は平安時代末期の仏像の特徴を示している。

住職 宮城・岩手慰霊法要

十二月五日(水)～七日(金)の三日間、宮城県仙台市荒浜、女川町、石巻・大川小学校、南三陸町防災対策庁舎、岩手県陸前高田、気仙沼大槌町の各被災地にて、慰霊法要に家内と共に行ってまいりました。

現地の御住職、震災語り部の人々等の生の声をうかがいました。いまだ行方不明の方、判明の出来ない数多くの御遺骨、仮設住宅での厳しい生活、お年寄りの引きこもり問題、まだまだ復興には時間がかかりそうです。

ダンプカーが多く走り、民宿、ビジネスホテルも復興に向けて働く人々でいっぱいです。マスコミ報道、ボランティアも少なくなってきたようですが、現地の方の声では、「大勢の人に伝えて」、「物資の援助もまだまだ」、「なによりも「心の支援ケアが必要」とのことでした。

震災より一年九ヶ月たった今望むことは、石巻で奮闘なされている御住職がおっしゃいました。数十年前のお酒のコマーシャルのフレーズ、『少し愛して、長く愛して』だと。



仙台市 荒浜 浄土寺様
津波で全て流され、プレハブの仮本堂



陸前高田 浄土寺様 高台にあった本堂は大規模半壊、庫裡は全壊で現在復旧中



陸前高田庁舎



陸前高田の街並み



南三陸町 防災対策庁舎



仙台市 荒浜にて



石巻市立 大川小学校

実性寺寄席

第十二回「実性寺寄席」が、十月二十八日（日）六時より開催されました。

大勢の方にご来寺いただき楽しんでいただきました。

総代様、暁月会の皆様のお力添えに感謝申し上げます。

第十三回は、四月八日前後に行います。



実性寺寄席の夜 本堂と参道



柳家 さん坊



出囃子 松尾 あさ



柳家 我太楼

平成二十五年度 年間行事予定

一月	三日（木）	修正会
二月	十五日（金）	涅槃会
三月	二十日（祝）	春季彼岸会回向
四月	八日（月）	花まつり
四月	吉日	花まつり実性寺寄席
五月	二十五日（土）	施餓鬼会
六月	吉日	蓮見の会
七月	十三日（土）	七月盂蘭盆会回向
	十六日（火）	送り火
八月	十三日（火）	八月盂蘭盆会回向
	十六日（金）	送り火
九月	二十二日（日）	秋季彼岸会回向
十月	吉日	実性寺寄席

謹賀新年

癸巳元旦



住職 画

★ 日没時間が早くなりました。閉門時間を変更させて頂きました。

開門	午前 六時半
閉門	午後 四時

☆ ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前までにお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確でございますのでご利用下さい。

ファックス番号

03(3883) 3227

振替口座

00190-6-258873

振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061

東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883) 8866

浄土宗 實性寺